

広島商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	保健体育Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0041		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	一般教科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材					
担当教員	橋本 真				
到達目標					
<p>1 自分や周囲の心身の健康・安全について理解し、ひとりひとりが主体的に授業におけるルールを意識して実行できる。</p> <p>2 保健分野の内容について正しい知識を習得し、それに基づいて自分の考えを表明できる。</p> <p>3 ボール運動(球技)では個人技能だけでなく集団技能を習得する。</p> <p>4 水泳では背泳ぎの泳法を習得する。</p> <p>5 器械運動では自分の技能に合った技の組み合わせができる。</p>					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	自分や周囲の心身の健康・安全、授業のルールについてについて、自主的に率先して理解や判断のもと適切な行動ができる。	指示があった自分や周囲の心身の健康・安全、授業のルールについて理解し適切な行動ができる。	指示があった自分や周囲の心身の健康・安全、授業のルールについて理解して適切な行動ができない。		
評価項目2	保健分野の内容について正しい知識を習得し、それに基づいて自分の考えを表明できる。	保健分野の内容について正しい知識を習得している。	保健分野の内容について正しい知識を習得していない。		
評価項目3	パス、ドリブル、スペースについての理解などの個人技能だけでなく、集団での戦術などの技能についても習得している。	パス、ドリブル、スペースについての理解などの個人技能を習得している。	パス、ドリブル、スペースについての理解などの個人技能を習得していない。		
評価項目4	背泳ぎに必要な技能を習得しているだけでなく、その技術を周囲に対して教授することができる。	背泳ぎに必要な技能を習得している。	背泳ぎに必要な技能を習得していない。		
評価項目5	器械運動に必要な技能を習得し技の組み合わせを考えることができるだけでなく、その技術を周囲に対して教授することができる。	器械運動に必要な技能を習得し技の組み合わせを考えることができる。	器械運動に必要な技能を習得し技の組み合わせを考えることができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	(1) 体育の学習を通じて、運動やスポーツをすることの楽しさを体験し、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する心身を醸成する。 (2) (1)のために必要な豊かな心、生きる力および規範意識の重要性について理解しながら、主体的、計画的に自身の健康と体力向上を考えて実行できる授業を展開する。 ※体育実技と保健の評価割合は70%と30%とする。				
授業の進め方・方法	通常の授業はグラウンドや体育館などの体育施設で実技を行なう。準備運動やストレッチング、トレーニングを実施し、個人の体力や技能の向上を図るとともに、ゲーム中での技術や判断、戦術理解などの総合的な能力を体得する。天候や施設などの状況により、シラバスどおりには実施できない場合がある。				
注意点	(1) 授業時の服装は、本校指定の体操服に限る。 (2) 安全への配慮を考慮して、当然のことながら装飾品を外し、爪を切るなど自己安全管理を求める。 (3) シラバスの項目・内容を確認して、ルール等を事前に予習しておく。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション、からだづくり運動	からだづくり運動の意義や必要性について理解している	
		2週	体カテスト	体カテストの意義や必要性について理解している	
		3週	体カテスト	体カテストの各調査項目について適切な実施方法を実行している	
		4週	ソフトボール	ソフトボールの基本用語やルールについて理解している	
		5週	ソフトボール	バッティングについて適切な動作を習得している	
		6週	ソフトボール	守備時の適切な動き方について理解している	
		7週	ソフトボール		
		8週	薬物乱用と健康	薬物について正しい知識を習得し、自分の意見を表明できる	
	2ndQ	9週	水泳	背泳ぎについて効率的なフォームで最低25メートル泳ぐことができる	
		10週	水泳	10分間泳に必要なフォームを習得している	
		11週	水泳	水球の基本用語やルールについて理解している	
		12週	水泳		
		13週	水泳		
		14週	スポーツと栄養	スポーツと栄養の関係について正しい知識を習得し、自分の私生活	
		15週	前期末試験		
		16週	前期末試験返却・解説		
後期	3rdQ	1週	ソフトバレーボール	ソフトバレーボールの基本用語やルールについて理解している	

		2週	ソフトバレーボール	ゲーム中にレシーブ、トス、アタックなど適切なプレーを選択している
		3週	ソフトバレーボール	ゲーム中にカバーリングやポジションの修正など適切な技能を習得している
		4週	器械運動	器械運動の基本用語や安全について理解している
		5週	器械運動	自分ができる技を組み合わせで発表できる
		6週	器械運動	自分ができる技を、周囲に対して教授することができる
		7週	器械運動	
		8週	飲酒と健康	飲酒について正しい知識を習得し、自分の意見を表明できる
		4thQ	9週	バスケットボール
	10週		バスケットボール	ゲーム中にドリブル、パス、シュートなど適切なプレーを選択している
	11週		バスケットボール	チームでポジションや戦術について考えて実践している
	12週		バスケットボール	
	13週		アダプテッドスポーツ	障がい者のスポーツについて理解し、自分の考えを述べるができる
	14週		まとめ	2年次の学習内容について理解している
	15週		学年末試験	
	16週		学年末試験返却・解説	

評価割合

	試験	レポート課題	発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	20	10	70	0	30	200
体育実技	0	0	0	70	0	30	100
保健	70	20	10	0	0	0	100